エアコンの普及は
省エネの普及と共に。

日本では厳しい省エネ規制をクリアしたエアコンしか
販売できませんが、
新興国では省エネ性能が劣る安価なエアコンが主流で、
このままでは30年後にはエアコン冷房による
電力需要が今の3倍になると言われています。※
ダイキンは、この状況を変えようと省エネ製品の普及に努めています。

例えばアフリカでは、サブスクリプションで、
省エネ性が高いエアコンを導入しやすくしました。
利用料だけで、エアコンの購入や設置、修理に掛かる費用は不要、
もちろん電気代も抑えられます。

世界150ヵ国以上で展開する空調メーカーの責任として、
ダイキンは、省エネと快適を両立する製品の開発、普及を続けます。

※国際エネルギー機関（IEA）のテクノロジーレポート「The Future of Cooling」（18年5月）より

空気で答えを出す会社 DAIKIN